

質問 観光案内所について

答弁 実情に合った観光案内体制の整備に努めてまいります

あべ たかひろ 議員 阿部 隆弘

質問



本年度4月1日より、なかまづぶにありました観光案内所が観光協会の事務所に移転いたしました。現在の場所では電話での対応には変わりありませんが、旅行者にとっては、バスでの移動や徒歩ではかなり遠く、不便だと思います。旅行者が困ったときの対応に迅速に答えられる、相手の知りたい気持ちに応えられる観光案内所が必要ですね。

町長答弁

ターとして問合せに 대응するなど、WiFiやAを駆使して対応するため、町が設置し、運用を観光協会に委託する方法を行ってはいかがでしょうか。町長の考えをお聞かせください。

中標津経済センターに配置されていまして観光案内所は、これまでなかまづぶ観光協会が中標津町商工会に業務委託していたものを今年4月から、なかまづぶ観光協会事務所へ移転し直営で観光案内を実施するものです。観光案内システムの導入は、デジタルを活用した先進的な提案であり、町の観光受入体制の強化に資するものと考えます。直営となった観光案内の今後の実績をみながら、実情に合った観光案内体制の整備に努めてまいります。

質問 結婚支援の環境整備を

答弁 今後研究を行ってまいります

えぐち ともこ 議員 江口 智子

質問1



コロナ禍の前後で、本町における婚姻数はどのように変化していますか。また法務省が本籍地以外でも自身証明書の取得を可能にしましたが、本町ではどのような対応を考えていますか。

町長答弁

コロナ禍前2019年の243件に対し、2023年は193件、2024年は208件と減少から横ばいの傾向に推移しています。

また、独身証明書は本町でも交付可能で、今後周知を図ってまいります。

質問2

道内の一部自治体では、

町長答弁

国の交付金を活用し、家賃や新居への引っ越し費用などを支援していますが、本町もこの制度を活用すべきではないでしょうか。

質問3

最近結婚や出産等、人生のイベントをアルバム代わりにSNSにとどめる時代になりましたが、昨年は婚姻数の4割程度がオリジナルの婚姻届を使用しています。

手元に残せるオリジナルの記念用婚姻届を作るなど、町への愛着につながるよう検討すべきではないでしょうか。

町長答弁

住民からの要望や意見を庁内で収集するなど、必要に応じて話し合いを行ってまいります。

オリジナルの届出用紙は民間のものも多く、今後研究を行ってまいります。